

自治研レポート・論文の募集

①応募方法・応募用紙について

レポートや論文に応募する際は、必ず指定報告用紙（自治研 HP からダウンロード）を使用し、必要事項を明記してください。応募にあたっては、データと印刷したペーパーの両方を送付してください。

<データ送付先> jichiken-report@jichiro.gr.jp

<ペーパー送付先>

〒102-8464 東京都千代田区六番町 1 自治労会館5階
自治労・自治研事務局 レポート担当宛

②応募締切

第一次締切：7月13日（金）
最終締切：8月 3日（金）【厳守】

③レポート

単組・県本部および NPO・市民団体、地域研究機関等から研究活動や実践活動についてのレポートを募集します。応募内容は関連するテーマの分科会別レポート報告集に掲載し、第14回地方自治研究賞の自治研活動部門への応募レポートとして取り扱います。なお、優秀賞に選ばれた方には、自治研集会初日に参加いただく予定です。

<レポート提出にあたっての注意点>

- (1) レポートを提出する分科会を選択し、レポートの冒頭に〔第〇分科会〕と明記してください。また、提出者の名前、所属、連絡先等を明記してください（連絡先は印刷されません）。
- (2) 字数：6,000 字程度（横書き）、上限は1万字以内（資料含む）
- (3) 応募したレポートは返却しません。

④論文

自治労内外から広く、地方自治・地域公共サービスに関する論文を募集します。テーマの限定はなく、エッセイや研究報告、実践報告など形式は問いません。自治体職員、地域公共サービス関係者、市民、地域の研究者など（共同でも可）、どなたでも募集できます。応募いただいたものは、全国集会において報告集に掲載し、また第14回地方自治研究賞の自治研究論文部門への応募として取り扱います。なお、優秀賞に選ばれた場合には、自治研集会初日に参加いただく予定です。

<論文提出にあたっての注意点>

- (1) 論文の冒頭には〔論文〕と明記し、提出者の名前、所属、連絡先等を明記してください（連絡先は印刷されません）。
- (2) 字数：8,000 字程度（横書き）、上限は1万字以内（資料含む）

⑤第14回地方自治研究賞について

第14回地方自治研究賞は、以下の通り審査・選考し第37回自治研全国集会で表彰します。

- (1) 選考
第1次選考：8月初旬
最終選考：9月初旬
- (2) 表彰
自治研活動部門：優秀賞1点（副賞 20 万円）
奨励賞若干（副賞 5 万円）
自治研究論文部門：優秀賞1点（副賞 10 万円）
奨励賞若干（副賞 5 万円）

自治研チャレンジサポートの募集

自治研チャレンジサポート制度では、レポートや論文にまとめるには至らない自治研の“芽”となりうる企画を募集します。採用された企画に対しては、企画実施のための助成金を給付します。

①応募要件

- (1) 自治労組合員であれば誰でも応募可とします。メンバーに自治労組合員が参加していることを条件に、「自治研部」などのチームでの応募も可とします。
- (2) 支援の対象とする活動
 - 市民自治のゆたかな社会をめざそうとする活動
 - 職場や地域に自治研活動の浸透をはかる取り組み
- (3) 2020年10月までに実施・活動完了する取り組みを対象とし、チャレンジサポートに採用された企画については、第38回自治研全国集会において活動報告としてレポートを提出してもらいます。

②支援金

優秀企画賞に採用された企画に対して、10万円を限度に企画実施にあたっての助成金を給付します。

③応募方法と締切

応募にあたっては、単組・県本部を経由しての応募に限らせていただきます。最寄りの組合にて「チャレサポ活動計画書」をお取り寄せてください。

<締切> 2018年8月3日（金）必着【厳守】

<申し込み先> メールアドレス：jichiken-report@jichiro.gr.jp

※詳細については、「土佐自治研開催募集要項」をご参照ください。

Facebook で土佐自治研のみどころ発信中

自治研活動はもちろん、
地元の食べ処や観光スポットなど、
知る人ぞ知る土佐の魅力を
教えます。



参加方法

自治労組合員の方は
所属する組合を通じてお申し込みください。
一般の方は、Facebook もしくは
一般受付 TEL 052-212-7019 まで。

第37回地方自治研究全国集会

高知県実行委員会（自治労高知県本部）

高知県高知市鷹匠町2-5-47 高知県自治労会館内

TEL 088-824-0151

[Facebook] <https://www.facebook.com/JichiroJichiken/>

お問い合わせ先



ゆるキャラグランプリ2016を
獲得したしんじょう君も
集会に登場!?

第37回地方自治研究全国集会

土佐自治研

創ろう、市民自治のゆたかな社会
土佐の地に学び、私たちの手で自由・自治・幸福を作りだそう

2018年10月5日（金）～7日（日）

高知県立県民体育館ほか

記念講演

自由・自治・幸福を追求するための
社会システム・財政制度のあり方

10月5日（金）

東北学院大学 経済学部 准教授
佐藤 滋さん



特別記念講演

AIとこれからの公共サービスのあり方

10月7日（日）

ジャーナリスト
メディア・アクティビスト
津田 大介さん



主催 自治研中央推進委員会／自治研高知県実行委員会

後援 高知県、高知市、香南市、黒潮町、高知市長会、高知県町村会、連合高知、高知県平和運動センター、
高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ

くわしくはFacebookで
自治研 検索

開催プログラム

2018年10月5日(金)～7日(日)にかけて、高知県高知市で「第37回地方自治研究全国集会(土佐自治研)」を開催します。人口減少・少子高齢化などをはじめとした社会課題への対応、台頭するAI(人工知能)への対応が急務となる中で、今後公共サービスのあり方や地方自治はどう変化し、どう対応していくべきでしょうか。土佐の地に結集し、全国の事例を持ち寄って熱い議論を交わしましょう!

●参加費

自治体議員、自治労組合員など	10,000円
一般住民の方	1,000円 × 参加日数

※分科会によっては、別途参加実費(弁当代・バス代)が必要となりますので、詳細については開催募集要項でご確認ください(開催募集要項は自治研HPにてダウンロードできます)。
※要請レポート者、分科会推進委員、障がい者の介助者などは参加費不要です。

初日 全体集会

2018年10月5日(金) 13:00～17:30 会場:高知県立県民体育館

記念講演

自由・自治・幸福を追求するための社会システム・財政制度のあり方

人口減少社会・超高齢化社会の中で行政ニーズは日に日に高まる一方で、地方財政はひっ迫し、国から削減圧力をかけられています。それを打開するためには、どのような視点を持ち、社会システムを構築していくのがいいのか、財政的視点から考えていきます。

東北学院大学
経済学部 准教授
佐藤 滋 さん

横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程後期修了。経済学博士。研究キーワードは財政学、イギリス財政史、租税抵抗、新自由主義、福祉国家論。著書に『租税抵抗の財政学』(岩波書店、2014年、共著)などがある。

パネルディスカッション

地域づくりは“あるもの探し”

持続可能な魅力ある地域をどうつくるかをテーマに、まちづくりのキッカケをどう見つけるか、どのように地域と連携すればいいのかなど、さまざまな立場の方と一緒にパネルディスカッションを行い、方策を探ります。

コーディネーター 佐藤 茂雄 さん(自治研中央推進委員・山形県酒田市職員)
パネリスト 地域づくり実践者、NPO関係者、自治体職員等(調整中)

3日目 全体集会

2018年10月7日(日) 9:00～11:40 会場:高知県立県民体育館

特別記念講演

AIとこれからの公共サービスのあり方

2017年は「AI元年」と言われ、さまざまな領域でAI(人工知能)が導入され、いろいろなサービスが展開されることで便利で新しい世の中になりつつあります。しかし一方で、AIを導入することにより、労働力がAIに取って代わられることも危惧されています。さらに進む技術革新にともなってAIはどのように変化していくのか、また労働とAIの関係性と有用性などについてヒントをいただきながら、あわせてこれからの公共サービスのあり方についてもご講演いただきます。

ジャーナリスト
メディア・アクティビスト
津田 大介 さん

1973年生まれ。東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。早稲田大学文学学術院教授(2017～2019年)。有限会社ネオオログ代表取締役。ポリタス編集長。テレ朝チャンネル2「津田大介 日本にプラス」キャスター。J-WAVE「JAM THE WORLD」ナビゲーター。一般社団法人インターネットユーザー協会(MIAU)代表理事。株式会社ナターシャ Co-Founder。メディア、ジャーナリズム、IT・ネットサービス、コンテンツビジネス、著作権問題などを専門分野に執筆活動を行う。ソーシャルメディアを利用した新しいジャーナリズムをさまざまな形で実践。世界経済フォーラム(ダボス会議)「ヤング・グローバル・リーダーズ2013」選出。主な著書に「ウェブで政治を動かす!」(朝日新書)、「動員の革命」(中公新書ラクレ)、「情報の呼吸法」(朝日出版社)、「Twitter 社会論」(洋泉社新書)、「未来型サバイバル音楽論」(中公新書ラクレ)ほか。2011年9月より週刊有料メールマガジン「メディアの現場」を配信中。

2日目 分科会

2018年10月6日(土) 9:30～16:30 会場:高知市等の会場に分散

分科会テーマ

※第2・6・7分科会および地元自治体企画は参加申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

第1分科会 自由は土佐の自治研より

ようこそ土佐自治研へ!自由民権運動発祥の地で自治の原点に迫る

第2分科会 まちの元気を語るかよ ～町ん中と山ん中の活性化～

一粒で二度おいしい!地域活性化の二局面に、課題から注目する

第3分科会 どうする? どうなる? これからの自治体 ～地方創生政策と議会改革から考える～

“地方創生”“議会改革”を見つめ直す機会にしよう。自治体に“AI”の導入はどこまでできるか考えます。

第4分科会 “土佐さんぽ”～若者と考える自治体の未来～

感性豊かな“若者”と一緒に土佐を歩いてみませんか?

第5分科会 人口減少社会をどう生き抜くか!?

乗り切れ、人口減少社会!地域の連携で輝くまちづくり!

第6分科会 「ごめん(後免)」と「いの(伊野)」で、みんなにやさしい公共交通

路面電車に乗って、高知の風土を満喫!

第7分科会 すべての人が共に暮らす社会づくり

「付度」ではなく「思いやり」!共生社会をみんなで考える

第8分科会 市民とともに「憲法」と「平和」を考える

～“まち”がその気になれば、戦争だって、とめられる～(岩波ブックレット「自治体の平和力」より)

古典的な分科会運営で、反戦・反核・人権・地方自治を考える。“まち”からつくる平和・人権・地方自治を考える。

第9分科会 子どもと地域社会 ～子どもの居場所をつくるのは誰?～

子どもの居場所に必要なものを、ハード、ソフト、そして心の面から考えよう。

第10分科会 みんなで支えあおう! 地域包括ケアとコミュニティー

2014年度スタートの新地域支援事業の創設に携わった服部先生のお話が聴けます!

第11分科会 自治研で探る「街中八策」

自治研入門編!自治体職員の理想を考える、それは「自治研」から

第12分科会 新しい公共のあり方「住民協働」理想と現実

住民協働を「自分ごと」として考えよう

地元自治体企画(黒潮町) 定員80人 「ふるさと」を次の世代へ～「犠牲者ゼロ」の防災まちづくり～

地域防災力を向上させるための地域コミュニティ活性化手段を探る